



北海道清里高等学校 学校運営協議会

コミュニティスクール通信

令和5年度第1号（令和5年7月4日発行）



【旧職員 牛島先生作 校舎からの斜里岳】

○清里高校のコミュニティスクールについて○

清里高校は、清里町からの財政支援、保護者や地域の方々との強い関わり、小・中・高の学校間の連携の体制が整っているという理由から、平成30年にコミュニティスクールとして、学校運営協議会を設置しました。その後、地域の人的・物的資源を活用し、地域の方や保護者との連携を一層深めながら、社会に開かれた学校づくりに努めています。

○6月14日（水）第1回運営協議会が清里高校会議室で開催されました。○

● 学校運営協議会組織の説明及び委員の紹介

新たに委嘱された委員もいることから、改めて学校運営協議会の役割を確認するとともに、コミュニティ・スクール導入の効果を測るためのアンケート実施等についても確認をした。

今年度の学校運営協議会の新たな取組として、学校関係者評価の適正化、学校運営協議会を中心としたコンソーシアム形成があげられた。

● 学校運営の基本方針の承認

学校より「学校魅力化、選ばれる学校へ」がキーワードである「令和5年度清里高校グランドデザイン」について説明があり、承認された。

● 学校運営や教育活動について

【学校から説明】

- ① 2年生全員のインターンシップについて
- ② 教育課程、進路状況および学習状況について
 - ・近年（H24～R5）の入学者数と進学実績の推移
 - ・選ばれる学校を目指し、わかりやすい魅力的な教育課程（国際理解、地域連携）でPR
 - ・個別最適な教育課程の編成を目指したT-base 遠隔配信授業の導入
 - ・令和4年度北海道高等学校学習状況等調査の結果について
- ③ 学校運営予算について
 - ・電気代の値上がりによる影響から、工夫した予算運営が必要
- ④ 国際交流プログラムについて
 - ・交換留学、海外派遣短期研修が、今年度より再開
- ⑤ その他
 - ・部活動に係る活動方針について
 - ・いじめ防止基本方針について
 - ・第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会概要



【学校運営協議会から学校への意見】

- ◇ 進路未定者に対し、どのように経験・体験をさせるか
有効な手段を考え、夢や目標を生徒に持たせ、家庭学習や学校生活を充実させる必要がある。
- ◇ 教育課程に配置される理系科目については、以下の理由から継続していくべきと考える。
 - ・ICTの高度化や現実的に必要な社会的情勢である。
 - ・学ぶ機会があっていい。
- ◇ 生徒を育てる上で、競争ではなく交流の促進を図り、多くの視点や考え方に触れさせることで、本当の意味でのグローバルな人材を育てる必要がある。

※ 委員の皆様、貴重なご意見、ありがとうございました。今後も引き続きご支援をお願いします。